

統計 調査部会

平成 13 年度主要建設資材需要見通し

建設投資見通しについては先に報告しているとおり、平成 13 年度では名目値として前年度比 4.6% 減の厳しい見通しである。

建設投資と密接な関係にある建設資材の需要見通しは、国土交通省発表の「平成 13 年度主要建設資材需要見通し」によると、主要建設資材 6 資材 9 品目すべてに前年度比 3~6% 減の見通しである。ここにこの概要を報告する。

1. 平成 13 年度主要建設資材需要見通し

表—1 に実績と見通しを示す。

表—1 平成 13 年度主要建設資材需要見通し

名 称・単 位	需 要 量			伸び率 (%、▲マイナス)	
	平成 11 年度実績	平成 12 年度実績見込み	平成 13 年度見通し	12/ 11	13/ 12
セメント (販売等量) (万 t)	7,152	7,144	6,800	▲ 0.1	▲ 4.8
生コンクリート (出荷量) (万 m ³)	15,117	14,950	14,200	▲ 1.1	▲ 5.0
骨材 (出荷量) (万 m ³)	47,032	45,552	43,700	▲ 3.1	▲ 4.1
碎石 (出荷量) (万 m ³)	26,581	26,471	25,400	▲ 0.4	▲ 4.0
木材 (製材品出荷量) (万 m ³)	1,840	1,728	1,675	▲ 6.1	▲ 3.1
普通鋼鋼材 (建設向け受注量) (万 t)	2,686	2,827	2,680	5.2	▲ 5.2
形鋼 (建設向け受注量) (万 t)	670	703	660	4.8	▲ 6.1
小型棒鋼 (建設向け 出荷量) (万 t)	1,073	1,109	1,050	3.4	▲ 5.3
アスファルト (建設向け 出荷等量) (万 t)	366	381	365	4.2	▲ 4.2

■需要見通し推計方法

「平成 13 年度建設投資見通し」の建築 (住宅、非住宅)、土木 (政府、民間) 等の項目ごとの平成 13 年度建設投資見通し額に、建設資材ごとの原単位 (工事費 100 万円当たりの建設資材需要量) を乗じ、各建設資材の需要実績等を考慮して、平成 13 年度の主要な建設資材の国内需要の推計を行ったものである。

■用語の定義

セメント販売等量：国内メーカーの国内販売量+海外メーカーからの輸入量

生コンクリート出荷量：組合員工場出荷量+その他工場推定出荷量

骨材・碎石出荷量：メーカーの国内向け出荷量

木材製材品出荷量：国内メーカーの製材品出荷量、製材用素材として外材を含む。通常建設向けの製材品出荷量は全体の約 8 割を占めている。

普通鋼鋼材・形鋼建設向け受注量：国内メーカーの国内建設向け受注量

小型棒鋼建設向け出荷量：国内メーカー及び国内販売業者からの国内建設向け出荷量。ただし、海外メーカーからの輸入量は含まない。

アスファルト建設向け出荷等量：国内建設向け出荷量+建設向け輸入量

平成 12 年度の主要建設資材の需要量は、建設投資が前年度比 0.1% 増で、うち民間投資の非住宅が 4.9% 増となることから、鋼材類については増加し、その他の資材についてはほぼ横ばいで推移している。

平成 13 年度は建設投資が政府投資、民間投資ともに減少し、全体では前年度比 4.6% 減となることから、すべての資材について減少する見通しである。

・セメント、生コンクリート

平成12年度における需要量は、セメントが対前年度比0.1%減の7,144万t、生コンクリートが対前年度比1.1%減の14,950万m³となっている。

平成13年度においては、セメントが対前年度比4.8%減の6,800万t、生コンクリートが対前年度比5.0%減の14,200万m³と見通される。

・骨材、碎石

平成12年度における需要量は、骨材が対前年度比3.1%減の45,552万m³、碎石が対前年度比0.4%減の26,471万m³となっている。

平成13年度においては、骨材が対前年度比4.1%減の43,700万m³、碎石が対前年度比4.0%減の25,400万m³と見通される。

・木 材

平成12年度における需要量は、対前年度比6.1%減の1,728万m³となっている。

平成13年度においては、対前年度比3.1%減の1,675万m³と見通される。

・普通鋼鋼材、形鋼、小形棒鋼

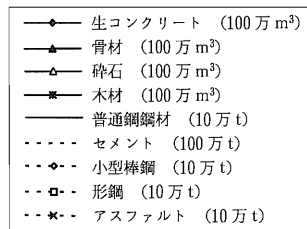
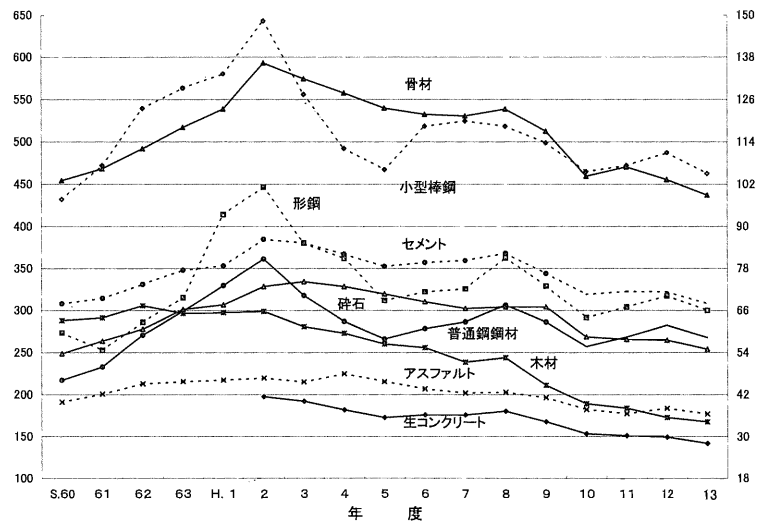
平成12年度における需要量は、普通鋼鋼材が対前年度比5.2%増の2,827万t、形鋼が対前年度比4.8%増の703万t、小形棒鋼が対前年度比3.4%増の1,109万tとなっている。

平成13年度においては、普通鋼鋼材が対前年度比5.2%減の2,680万t、形鋼が対前年度比6.1%減の660万t、小形棒鋼が対前年度比5.3%減の1,050万tと見通される。

・アスファルト

平成12年度における需要量は、対前年度比4.2%増の381万tとなっている。

平成13年度においては、対前年度比4.2%減の365万tと見通される。



- 実線 (生コンクリート、骨材、碎石、木材、普通鋼鋼材)：左軸を参照。
点線 (セメント、小型棒鋼、形鋼、アスファルト)：右軸を参照。
- 生コンクリートについては、平成3年度以前のデータの集計方法が異なるために未掲載。
- 平成12年度の需要量は実績見込み値 (一部実線値を含む)。
- 平成13年度の需要量は見通し。

2. 主要建設資材需要量の年度推移

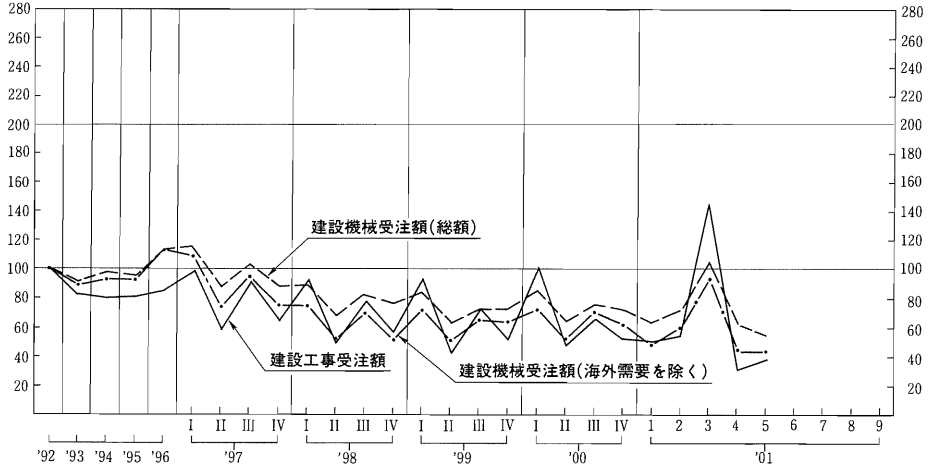
図一1は主要建設資材需要量の年度推移を表したものである。ほとんどの主要建設資材の需要量は、平成2年度をピークに以降低下傾向を示し、平成8年度に多少持ち直したが、平成9年度以降は再び低下傾向となり、平成13年度は一段と低下にある。

図一1 主要建設資材需要量の年度推移 (昭和60年～平成13年)

統計

建設工事受注額・建設機械受注額の推移

建設工事受注額：建設工事受注動態統計調査(大手50社) (指数基準 1992年平均=100)
 建設機械受注額：機械受注統計調査(建設機械企業数27前後) (指数基準 1992年平均=100)



建設工事受注動態統計調査(大手50社)

(単位：億円)

年月	総計	受注者別						工事種別		未消化工事高	施工高
		民間			官公庁	その他	海外	建築	土木		
		計	製造業	非製造業							
1996年	203,812	121,077	21,411	99,666	65,304	5,440	11,991	129,686	74,125	216,529	205,590
1997年	188,683	116,190	21,956	94,234	55,485	5,175	11,833	122,737	65,946	204,028	201,180
1998年	167,747	103,361	16,700	86,662	51,132	4,719	8,535	106,206	61,541	193,823	183,759
1999年	155,242	96,192	12,637	83,555	50,169	4,631	4,250	97,073	58,169	186,191	164,564
2000年	159,439	101,397	17,588	83,808	45,494	6,188	6,360	104,913	54,526	180,331	160,536
2000年5月	9,317	5,580	1,505	4,075	2,640	472	625	6,401	2,916	194,333	11,383
6月	11,656	6,712	1,188	5,524	3,155	573	1,215	7,519	4,137	193,748	12,500
7月	9,447	6,115	1,156	4,958	3,711	500	121	6,390	3,056	190,997	12,268
8月	10,870	6,530	1,150	5,380	3,508	501	330	7,277	3,592	189,657	12,369
9月	19,412	12,903	2,151	10,751	5,023	674	813	13,141	6,270	190,038	16,446
10月	8,763	4,975	1,295	3,680	3,191	453	144	5,290	3,473	186,213	12,656
11月	10,607	6,377	1,390	4,988	3,107	516	606	6,854	3,752	183,451	13,407
12月	11,819	7,326	1,522	5,804	3,428	603	461	8,193	3,626	180,331	14,851
2001年1月	9,952	5,560	1,288	4,272	2,867	455	1,069	5,852	4,099	178,782	11,822
2月	11,309	7,324	1,371	5,953	3,038	538	409	7,356	3,953	176,992	13,417
3月	29,365	18,796	3,047	15,749	8,545	824	1,200	18,100	11,265	183,873	22,609
4月	6,283	4,146	966	3,180	1,373	488	277	3,954	2,330	175,139	11,850
5月	7,646	4,860	1,120	3,740	1,826	458	502	4,844	2,803	—	—

建設機械受注実績

(単位：億円)

年月	'96年	'97年	'98年	'99年	'00年	'00年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'01年1月	2月	3月	4月	5月
総額	12,862	13,720	10,327	9,471	9,748	668	794	709	767	1,007	712	750	881	693	791	1,136	676	608
海外需要	4,456	3,931	4,171	3,486	3,586	272	312	264	277	264	232	244	379	306	316	397	331	256
海外需要を除く	8,406	9,789	6,156	5,985	6,162	396	482	445	490	743	480	506	502	387	475	739	345	352

(注) '92年~'96年は年平均で、'97年~'00年は四半期ごとの平均値で図示した。

出典：国土交通省建設工事受注動態統計調査
 内閣府経済社会総合研究所機械受注統計調査